



ギンリョウソウ

明けましておめでとうございます。

赤城山から吹き付ける北風『赤城おろし』の影響で一段と冷え込む北埼玉。園庭の木々もすっかり冬の装いとなり、子どもたちは冬ならではの遊びや生活・風習を味わっています。

今年度も実践交流会に属している保育園は9園ですが、近隣の保育園にも合同リズムや研修にお誘いし、保育の学びや交流の輪が少し広がりをみせています。

羊の毛刈り 4月16日（火）

第二さくら・くるみ保育園

昨年度末に、羊の母子が第二さくら保育園へ仲間入りしました。母さんはミミちゃん、子羊はユキちゃんです。そして春、ユキちゃんが心配そうに見守る中ミミちゃんの毛刈りをしました。

熊谷のくるみ保育園の年長さんも一緒にふわふわの毛を触ったり、毛の汚れている部分をハサミで切り選別しました。ミミちゃんからもらった羊毛は、きれいに洗って乾かし、針さしをしました。



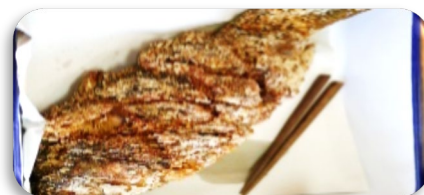
針さし

鯉つかみ 6月5日（水）

ふきのとう・ゆずの木・たんぽぽ・さくらんぼ・
第二さくら・わらしべの里共同保育所・くわの木

第二さくらに7園が集まりました。

リズム・うたを共に楽しみ、『きんたろう たきのぼりのまき』の紙芝居を見ると、もうワクワクが抑えられません。園ごとに挑むのではなく、自分で1～3回目のどの順番に挑戦するか決めて鯉つかみをしました。友だちの応援に励まされながら最後まで挑み続け、鯉も必死に逃げていました。捕まえた鯉はそれぞれの園に連れて帰り、命を大切にいただきます。



鯉の丸揚げ

合同リズム交流に向けて

〈参加園〉さくら・さくらんぼ・第二さくら・ふきのとう・くるみ
たんぽぽ・ゆずの木・たけのこ・くわの実保育園

今年度の交流を前に園長・年長担任の顔合わせを行い、各園子どもの様子や配慮していることを出し合いました。また20年前（斎藤先生の指導を離れたころ）の合同リズムへ向けた園長会の記録を読み合わせし、自分たちの保育中で大切にしていることを見つめ直しました。

以下抜粋して紹介します。

【保育者として】

- ・交流の中で担任が受け身でいたら発見を感じられない。自分が未熟でも自分のやっていること、自分の考えをみんなの前にさらけ出していく、自分をみんなの中で突き出していく主体性が大切。一人一人が高まっていけるような場をどう作るか。保育者が仲間を信頼し、本当の自分・悩みを出す場をどれだけ作り出せるか。
- ・受け身で人から学ぶのではなく、自発的にする。誰かに頼り学ぶ発想でなく、みんなに刺激を与える存在になろう。影響し合っていく。
- ・言葉での一致だけでなく、実践の一致を大切にする・・・など

北埼玉の園長が力を寄せ合って運営し、毎年の年長担任と力を合わせて進めていく合同リズムをどうしたらよりよいものにできるかを考え合う礎となりました。



自由の森学園中高生による民族舞踊



フォローステップ